

氏名 (法人にあっては名称)	イオンリテール株式会社 中四国カンパニー
住所	広島県広島市南区段原南1丁目3-52
計画期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
基準年度(*1)	令和3年度

1 事業者の要件 ((1)、(2)については、特定年度(\*2)における市内に設置された全ての事業所の合計量)

該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> (1)原油換算エネルギー使用量(*3)が1,500キロリットル以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (2)エネルギー起源二酸化炭素を除く物質ごとの温室効果ガス排出量(*4)が3,000トン以上 (特定事業者) <input type="checkbox"/> (3)特定事業者以外の事業者
------------	---

2 事業の概要

事業者の業種	百貨店・総合スーパー (主たる事業の日本標準産業分類における細分類番号：5611)
事業概要	イオンリテール(株)中四国カンパニー(中国5県、四国4県にて総合小売業(モール、GMS、SM等を展開))

3 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の実施状況等

(1) 温室効果ガス排出量の抑制に関する目標の達成状況

(※温室効果ガス排出量の下段は削減量の対基準年度比  $((a-b)/a) \times 100$  (aは基準年度の実排出量))

項 目	基準年度の実績 a	計画期間の目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3年度	令和4～令和6年度(平均値)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和4～令和6年度(平均値)
温室効果ガス実排出量(*5)	5,907 t-CO <sub>2</sub>	5,553 t-CO <sub>2</sub>	5,473 t-CO <sub>2</sub>	5,097 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
		6.0 %	7.3 %	13.7 %	%	%
温室効果ガスみなし排出量(*6)		5,553 t-CO <sub>2</sub>	5,473 t-CO <sub>2</sub>	5,097 t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>
		6.0 %	7.3 %	13.7 %	%	%
実績に対する自己評価	イオンスタイル広島祇園とイオンみゆき店は、2023年11月分より買電先を中国電力からサミットエナジー(株)へ切替えて100%再生エネルギー利用となり温室効果ガス排出量は、大幅に削減する。					

- \*1 基準年度とは、温室効果ガスの抑制制度を比較する基準の年度であり、原則として特定年度(\*2)とする。なお、基準年度の温室効果ガス実排出量(\*5)については、事業活動の著しい変動等により特定年度が基準年度として適当でないときは、事業者の判断により、特定年度を含む連続した過去3か年度の平均値とすることができる。
- \*2 特定年度とは、計画期間となるべき期間の最初の年度の前年度をいう。
- \*3 原油換算エネルギー使用量とは、燃料の量並びに他人から供給された熱及び電気の量をそれぞれ発熱量に換算した後、原油の数量に換算した量の合算をいう。
- \*4 温室効果ガス排出量とは、二酸化炭素(エネルギー起源のもの及び非エネルギー起源のもの)、メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボン、パーフルオロカーボン及び六ふっ化硫黄の排出量を二酸化炭素の数量に換算したものをいう。
- \*5 温室効果ガス実排出量とは、上記(\*4)のうちエネルギー起源二酸化炭素の排出量と、それ以外の物質ごとの温室効果ガス排出量が特定事業者単位で3,000トン以上のものの排出量の合算をいう。
- \*6 温室効果ガスみなし排出量とは、上記(\*5)に対して環境価値(\*8)に相当する温室効果ガスの削減量等を調整したものをいう。なお、環境価値が活用されないときの温室効果ガスみなし排出量は、温室効果ガス実排出量と等しくなる。

(2) 事業分類ごとの原単位(\*7)の抑制に関する目標の達成状況 (※任意記載)

(※原単位の下段は削減量の対基準年度比  $((a-b)/a) \times 100$  )

事業分類	基準年度の 実績 a	計画期間の 目標 b	計画期間の実績 b			
	令和3 年度	令和4～令和6年度 (平均値)	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和4～令和6年度 (平均値)
イオン宇品店	2144	2015	1841	1884		
		6.0 %	14.1 %	12.1 %	%	%
イオンスタイル広島祇園	2792	2625	2751	2429		
		6.0 %	1.5 %	13.0 %	%	%
イオンみゆき店	971	913	881	784		
		6.0 %	9.3 %	19.3 %	%	%
原単位の指標及び 実績に対する 自己評価	原単位指標：t-CO2 イオンスタイル広島祇園とイオンみゆき店は、令和5年11月分から電力会社を中国電力からサミットエナジー（株）に切替えCO2排出量0の再生エネルギーに切替え大幅削減する。 宇品店は、九州電力で継続供給令和4年度コロナ過体制から令和5年度通常体制に戻りCO2排出量大幅に増加する。 ※サミットエナジー基礎排出係数：0.418					

(3) 温室効果ガス実排出量の抑制に関する措置の実施状況

温室効果ガス排出量削減へ向けて、中四国カンパニー（四国全店及び宇品店を除く）広島県、岡山県、島根県、鳥取県の店舗は、買電供給先を中国電力からサミットエナジー（株）に2023年11月分より切替実施、切替店舗は、再エネ100%運営実施エネルギー起源温室効果ガス排出量大幅削減する。

(4) 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置の実施状況（環境価値(\*8)の活用等）

2023年度、温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する措置は、実施しておりません。

4 その他の取組の実施状況

- 1、省エネ推進：電気使用量削減、削減目標昨年対比98.0%
- 2、使い捨てプラスチックの削減：プラ製レジ袋辞退率90.0%（第四四半期目標）
- 3、循環型社会推進：ペットボトル店頭リサイクル回収量 昨対103.0%

\*7 原単位とは、温室効果ガス排出量を生産量、延べ床面積等の当該排出量と密接な関係を持つ値で除したものをいう。  
\*8 環境価値とは、オフセットクレジット制度等により、温室効果ガスの排出削減等を行うプロジェクトを通じて生成される温室効果ガスの削減量等をいう。なお、温室効果ガスみなし排出量(\*6)の調整対象となる環境価値は市内分とし、市長が認めるものに限る。